

令和 7 年 3 月議会

福祉産業委員会資料

まちづくり建設課

(道路担当)

目 次

道路担当

1	町道修繕費 20 年の推移	・・・・・・・・	1
2	都市計画道路万願寺橋通り線交差点設計	・・・・・・・・	2
3	東武動物公園駅西口周辺事業の詳細	・・・・・・・・	3

町道修繕費 20年の推移

単位：円

令和5年度	63,973,168
令和4年度	82,123,913
令和3年度	91,626,097
令和2年度	68,637,168
令和元年度	84,912,239
平成30年度	75,051,115
平成29年度	77,826,037
平成28年度	106,178,139
平成27年度	94,447,676
平成26年度	128,779,426
平成25年度	128,879,798
平成24年度	23,750,862
平成23年度	81,809,648
平成22年度	64,634,150
平成21年度	47,084,334
平成20年度	43,674,134
平成19年度	44,937,493
平成18年度	35,156,935
平成17年度	43,062,500
平成16年度	63,082,444

※（目）道路維持費の総額
（除草・剪定・清掃を含む）

都市計画道路万願寺橋通り線交差点設計

県道春日部久喜線（以下「春日部久喜線」という。）と都市計画道路万願寺橋通り線（以下「万願寺橋通り線」という。）が交差する須賀上交差点には、右折帯が設置されておらず朝夕のラッシュ時に渋滞が発生している。平成20年度に埼玉県が渋滞解消に向け交差点改良工事を計画したが、用地協力が得られないという理由で事業を中止した経緯がある。

春日部久喜線については時差式信号が導入され、県道方向からの右折待ちによる渋滞はある程度緩和されていると考えられるが、万願寺橋通り線側の渋滞については解消されていない。

●整備の方法と課題

①春日部久喜線を含めた交差点の改良

課題：用地協力が得られず過去に中止した経緯がある

影響：事業の着手が難しい。埼玉県の予算措置が必要

②万願寺橋通り線のみ暫定的な右折帯の設置

課題：将来の万願寺橋通り線立体交差の線形が未決定。周辺土地利用計画が未決定

影響：将来追加買収が必要となる。土地利用に伴う道路計画との整合が必要

③万願寺橋通り線の現道内での暫定的な改良（右折避讓帯の設置）

課題：既存歩道幅員の減少

影響：歩行者の利便性の低下

※右折避讓帯

既存道路に右折車線の幅員が確保できない場合に暫定的に設置（W＝4.5m）

●今後の方針

- ・②及び③の設計を進め公安委員会と協議を行う
- ・①については引き続き埼玉県と調整を行う
- ・②及び③についても埼玉県との調整を引き続き行う

●令和7年度の予定

- ・（都）万願寺橋通り線（町道第75号線）交差点改良設計業務委託の発注
- ・交差点の形状について、公安委員会協議の実施

東武動物公園駅西口周辺事業の詳細

●事業概要

駅西口から東武動物公園、新しい村までを、町民・観光客・事業者と共にアイデアを出し合いながら、歩いて楽しく、わくわくするような道に整備し、西口エリアの価値を高める。

●令和7年度の実施予定

- ・イルミネーション
- ・ストリートファニチャー
- ・フラッグ
- ・デザイン平板

